



保護者 との子 グループ

2月9日、10日のリハーサル。今まで話し合ってきたこと、練習してきたことを実践していきました。最初は園庭、職員室から放送による案内をしました。少し恥ずかしがりながらも案内の内容をゆっくり丁寧に話していきました。放送が終わった後は舞台裏で乳児組の出番までの待ち時間に手遊びをしたり靴も履かせてあげたり等手伝いをしました。色々な手遊びをして乳児組も出番まで静かに待つことが出来ていました。舞台袖から乳児組を送り出し中には「頑張ってきてね」と声を掛ける年長児の姿も見られました。今回のリハーサルでは年少組の衣装付けの手伝いはなかったのですが最後に劇が終わった乳児組を迎えに行き、客席まで連れていきました。次回の活動で今回の振り返りを行い、写真リハーサルと本番へと繋げていきたいと思います。



足立

どうぐグループ 9日、10日のリハーサルでは、初めて道具を出す練習を行いました。各クラス良い劇を作る為、きりぎりまで話し合っていたこともあり、リハーサル当日までどの道具を使うのかわからない状態でした。劇が始まる直前まで道具グループの中で話し合い、「草は持つわ」「木は重いから2人で持とう」と役割を決めて取り組み事が出来ました。劇中には「木の草をとれて」「あの子、草に乗ってるからこわれる」と出すだけでなく「使われ方」にも注目して見ていましたよ。これはみんなに言わな」と課題が子どもたちから出た時には、成長を感じる事が出来ました。初めて道具出しをしたとは思えない程、丁寧に取組みました。しかし、子どもたちは「60点やなあ」とツシ不満の声が、「バタバタしてたから、ゆくり出さな」と自分の姿を振り返っていました。次回の活動では、今回のリハーサルで気付いたことを中心に、道具の出し方や修理をしていきたいと思います。塩飽

司会グループ

9日、10日は、リハーサルがありまいた。初めてたくさんのお客さんの前に、緊張の様子の子もたくさんでしたが、リハーサルが始まると緊張はなくなり、それぞれが練習したことを見せています。オープニングでは、周りの楽器に合わせながら演奏の姿もありました。舞台袖では、自分たちの出番の前になるとソワソワの様子でしたがプログラムの紙を持って「あれ?!先生、何て言うんやっけ?!」と緊張しているのか、忘れる子もいます。しかし、自分たちの司会の出番が来ると、友だちと息を合わせて言っています。初めてのリハーサルで戸惑うこともありましたが、次回の活動や写真リハーサルにしっかり練習し、本番を迎えたいと思います。



次回の活動は、オープニングの演奏の練習や、司会の声の大きさなど互いに声を合いながら練習していく予定です。